

① はまなか

議会だより

NO 156

令和8年4月15日発行



3月定例会

予 算 議	ふれあい交流公園整備事業は 委員会レポート (総務経済常任委員会 社会文教常任委員会)	3P~7P 9P~11P
一 般 問	4人の議員が町政を問う 「浜中学」を学んで (三上 ゆい さん) 「吉祥」 (紺野 暖斗 さん)	12P~15P 16P

令和8年3月30日、町内の保育所で卒園式が行われました。いつも支えてくれた家族、保育所で色々なことに導いてくれた先生方に感謝の歌が贈られました。夢や希望を胸に抱き、新しい世界へ一歩踏み出す子どもたちの晴れ姿はとても素敵でした。

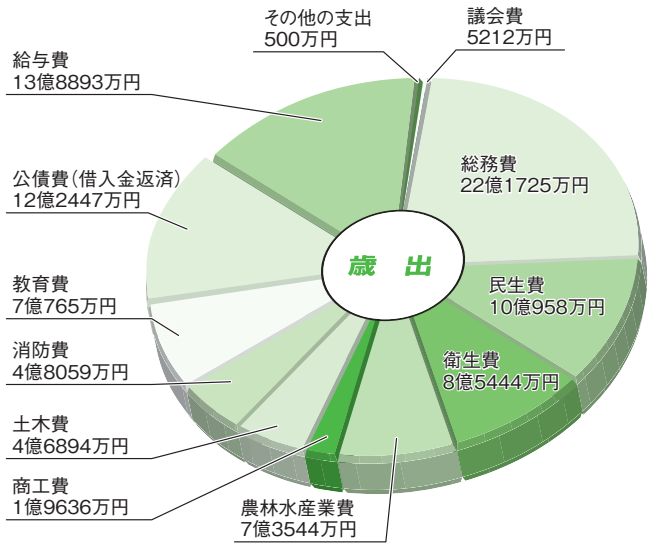
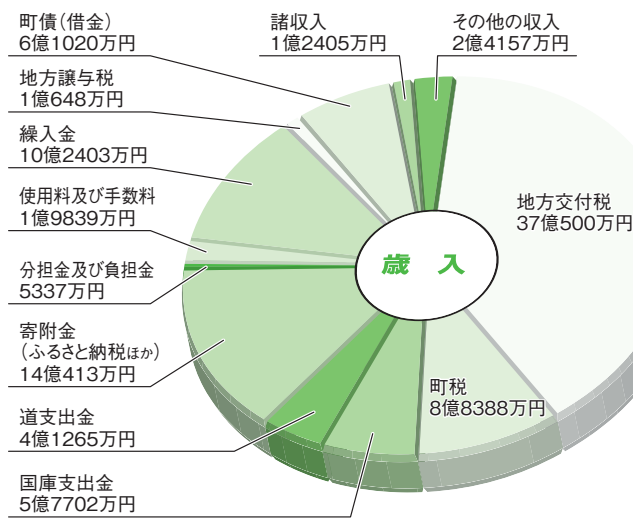
表紙の写真

予算の概要

令和8年度 一般会計予算

総額93億4077万円に

一般会計予算の内訳



各会計の当初予算と前年対比

会計別	歳入歳出予算額		増減率(%)	
	令和8年度	令和7年度		
一般会計	93億4077万円	98億0663万円	△ 4.7	
特別会計	国民健康保険	10億9640万円	11億0442万円	△ 0.7
	後期高齢者医療	1億0404万円	8858万円	17.4
	介護保険	4億9668万円	5億1045万円	△ 2.7
	浜中診療所	3億2231万円	3億3537万円	△ 3.9
合計	113億6020万円	118億4545万円	△ 4.1	
企業会計 (企業会計とは、民間企業と同じような経理を行う会計です。)				
	収入	支出	増減率(%)	
水道事業	収益的	1億9977万円	2億1874万円	△ 8.6
	資本的	2億2579万円	3億0375万円	240.3
※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額7796万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。				
下水道事業	収益的	4億0414万円	4億0258万円	0.4
	資本的	1億6751万円	2億8984万円	16.0
※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1億2233万円は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。				

一般会計からの
繰出金

5074万円 ←
2970万円 ←
7608万円 ←
2億1137万円 ←
3億6789万円 ←

他会計からの
補助金

3938万円 ←

他会計からの
補助金

2億2176万円 ←

予算審議から

3月
定例会
4日～11日

令和8年第1回定例会が3月4日から、8日間（休会2日含む）の日程で開かれました。町長から町政執行方針、教育長から教育行政執行方針が示され予算審議など活発な議論が展開されました。

今定例会には、令和7年度の補正予算をはじめ令和8年度当初予算および条例制定など20議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

また、一般質問は4人の議員が登壇しました。

ふれあい交流公園整備事業は

問 総事業費2億4200万円で茶内地区に整備するふれあい交流公園の目的と内容および財源は。

答 町の子育て支援は、これまで医療費や給食費の無償化など家計負担の軽減策を優先してきた。5年毎に策定する「子ども・子育て支援事業計画」でのアンケート調査で過去3期とも子どもが安心して遊べる公園などの整備を望む声が多かった。子育て環境の充実策として親子が安心して過ごせる場であるとともに人々の交流の場となる公園

を2カ年事業で整備する。主な内容は、幼児・児童でゾーニングした8種類10基の遊具のほか、暑さ対策として水遊び用シャワーポール、日陰確保のためのタープやベンチを設置。イベント会場としても活用できる芝生広場は、電源プラグも設置し、キッチンカーの乗り入れも可能。財源対策は、50%が地域未来交付金（国の補助）で残りを企業版・個人版ふるさと納税と過疎対策事業債を活用し、町負担を1920万円に抑制する。



公園の完成イメージ

テレビ中継局更新工事の内容は

問 3520

万円で実施する霧多布デジタルテレビ中継局更新工事の内容と工期および工事によるテレビ視聴への影響は。

答 この中継局は、霧多布・暮帰別・仲の浜・新川・琵琶瀬・榊町・恵茶人の7地区へデジタル放送の電波を供給している。

15年が経過し更新時期となることから、令和7年度～8年度で実施する事業である。7年度は、内部の機器を塩害などから保護する建物の補修を実施。8年度は、送受信装置本体の交換で、工場で作成した送受信装置を視聴に支障のない深夜に設置切替を行う。実施時期は8年12月の予定である。



霧多布デジタルテレビ中継局

地域おこし協力隊の現況は

問 地域おこし協力隊については、令和7年度当初6人の隊員が着任し、10月から新たに1人加わりそれぞれの分野で活動してきた。8年度には「縁結びサポーター」と「地域スポーツコーディネーター」の2人が加わる予定であるが、8年度の体制と新たな委託業務の内容は。

答 縁結びサポーターの主な業務は、地域の人々や産業団体と情報共有を図りながら、町内の独身男女が結婚を意識し過ぎず交流できる機会の創出をメインに、信頼性の高いマッチングアプリを活用するなどの婚活支援業務となる。

スポーツコーディネーターは、スポーツ少年団や中学校の部活動・地域のスポーツ活動に参加して現状把握とニーズなどを洗い出し、持続可能なスポーツ活動のためのネットワークづくり

や指導者となる人材発掘などの業務となる。
8年度の体制は、観光振興PR支援員3人・タウンプロモーション推進員2人・フラワーコーディネーター1人に前述の2人を加えた8人で、活動費を含めた委託料は4355万円となる。

なお、移住定住コーディネーターとして1年間活動してきた隊員1人は、浜中町での定住を決意して公務員試験を受験し合格したことから浜中町役場に採用となった。



毎月行われる連絡会議

旧「湯沸母と子の家」の解体工事は

問 旧湯沸母と子の家を190万円で解体する予算である。解体時期など自治会との協議は。

答 昭和52年築の当該施設は、鉄骨造りで柱などの腐食が著しいことから、令和

7年度に新たな集会施設を新築移転した。倒壊する前の解体撤去を望む地域要望を受け実施する。

解体時期は、自治会が備品などを新しい施設へ移設した後の8月下旬から11月上旬を予定している。



解体される旧「湯沸母と子の家」

琵琶瀬展望台改修工事の内容は

問 観光施設改修工事199万円は、琵琶瀬展望台ホール柵改修に係る工事であるが詳細と工期は。

答 当該施設の柵が老朽化による腐食から安全面を考慮し、4面総延長26mを改修するもの。

工事期間は45日を見込み観光シーズン前の完了を予定している。
この度の予算は柵部分の改修工事のみを見込んだものであるが、ベンチについては今後検討したい。



改修される琵琶瀬展望台

霧多布保育所工事請負費の内容は

問 霧多布保育所270万円
の工事請負費の内容は。
また、令和7年度改修時
に実施しなかった訳は。

答 霧多布保育所のプレイ
ルームにエアコン2台を設
置する工事である。これに
より園児たちの室内での遊



エアコンが設置されるプレイルーム（霧多布保育所）

びやお昼寝時も快適となる。

財源である交付金は、年
度内の完了が要件であり、
エアコンの納入が7年度に
間に合わないことから、一
般財源で8年度に設置する
もの。

湿原センター備品購入は

問 288万
円で購入する
備品内容は。

答 湿原セン
ター1階シア
タールームで
使用している
プロジェクト
ーが、経年劣
化による故障
で使用不能と
なり更新する。
プロジェクト
ーと工事費含
め44万円。

2階展望ホールにエアコ
ンを2台（キッチン側とエ
ントランス側に各1台）を
設置する。エアコン2台と
工事費含め244万円。

町道補修工事の内容は

問 町道補修は、損傷度合
や交通量などを勘案して毎
年計画的に実施している。
令和8年度予算7200万
円で補修する路線と工事内
容および工事費は。

答 8年度は4路線を計画。
・茶内1号幹線道路（西円）
は、昨年11月の大雨によ
り陥没した道路の本復旧
工事で総事業費4600
万円。工事期間は、11
0日の予定で全面通行止

期間が40日程度となるこ
とから一番草の収穫に支
障をきたさない時期を地
域と協議する。

・霧多布2条通は継続で延
長125mのオーバール
イ事業費940万円。
・茶内3条通も継続で延長
132・5mのオーバ
レイ事業費1千万円。
・琵琶瀬川中1号道路は新
規で延長90mの舗装打換
え工事業費660万円。

私有林整備事業の内容は

問 私有林整備事業補助2
73万円は新規事業である
が内容は。

答 私有林を所有する人が
造林を行い鳥獣や野鼠など
の被害を受けた場合、被害
地に再植林を行うと国から

68%の補助を受けられるが、
被害率が50%に満たないと
補助要件から外れるため整
備されない山林があること
から、北海道や森林組合と
協議し町が森林環境譲与税
を活用し事業費の94%を補
助する。

町営住宅の解体は

問 1450万円で解体する町営住宅の場所と工期は。

答 昭和44年に建設された散布団地の住宅一棟4戸。



解体される町営住宅

令和6年度の asbestos 調査の結果、外壁仕上塗材からアスベストが検出されたので隔離養生（飛散防止）を行い解体する。

工事期間は75日で、解体時期はコンブ漁をされている地域住民と協議して決定する。

空き家解体補助の活用状況は

問 不良空家等除却補助は令和7年度比200万円減額の800万円の予算であるが、7年度までの実績と8年度に解体予定の件数は。

答 補助上限額を100万円に引き上げた以降の実績は、5年度4件・6年度8

件・7年度4件である。

7年度の相談調査件数から8件分を見込んでの予算措置であるが、固定資産税納付書の送付に合わせ、制度の周知を図るほか相談のあった人へは利用を促していく。

商工振興の補助事業は

問 令和8年度の創業支援事業補助200万円と小規模事業継続支援補助550万円の内訳は。また、7年度の実績は。

答 7年度実績は、創業支

援事業補助が飲食店2件の開業で465万円。小規模事業継続支援補助が12事業者で990万円となった。8年度の予算額は、実績と相談件数を考慮した見込み計上である。

茶内トレセン管理委託料の増額は

問 農業者トレーニングセンター管理清掃委託料313万円である。令和7年度比176万円増額の要因は。また、雨漏りも発生しており早期の長寿命化改修が必要であるが見通しは。

答 茶内トレセンには、常駐の管理人を配置していなかったが、高齢者事業団に平日の午後6時まで管理業務を委託することとした。これにより図書の貸出しやニーズに沿った空きスペースの有効利用も図っていききたい。

改修については、財源確保に努め極力早期に実施したい。

条例の制定を議決

■浜中町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
令和6年6月に「子ども

子育て支援法」が改正されたことに伴い、生後6か月から満3歳未満で保育所等に通っていない子どもを対象に、保護者の就労条件を問わず、時間単位で利用できる新たな通園制度となる「子ども誰でも通園制度」に対応した給付制度、「乳児等のための支援給付」が創設される。この制度の対象となる事業者は、市町村条例により定めた基準に従い、乳児等通園支援を提供しなければならぬことから、国の基準に従い、新たな条例を制定する。

■浜中町立診療所診療委託医師及び嘱託医師処遇改善準備基金条例の一部を改正する条例の制定

浜中町立診療所診療委託医師及び嘱託医師処遇改善準備基金について、町立診療所診療委託医師等に対する退職報奨金の財源として、毎年度積立てを行っており、当該医師に対し、将来にわたり報奨金を支払えるだけの基金残高であることから、今後の基金への積立てについては、実情に応じ予算の定めるところにより積立てが可能となるよう見直しを行う。

議会傍聴規則の改正を可決

標準傍聴規則の一部改正に伴い、当町傍聴規則においても全面的な見直しを行うもの。

補正予算を議決

一般会計は、年度末における事業費の確定に伴う補正で予算総額を112億4396万円とした。

◎特別会計

- ・国民健康保険特別会計
- ・後期高齢者医療特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・浜中診療所特別会計

◎企業会計

- ・水道事業会計
- ・下水道事業会計
- ・特別会計、企業会計とも令和7年度実績見込みに基づく補正。

選挙管理委員及び補充員を選任

令和8年3月8日に任期満了となる選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙を行い全会一致で左記のとおり選任した。

選挙管理委員

田中 政明氏
梅原 昌美氏
小松 昭彦氏
大竹 栄子氏

補充員

越田 正昭氏
佐藤 佳信氏
新岡亜抄美氏
中山 教子氏

第1回臨時会（1月29日開催）

一般会計補正予算、津波避難タワーの工事請負契約辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更などについて可決した。

辺地総合整備計画変更

○変更(西田朱別地区辺地)

令和7年度から11年度までの計画に茶内1号幹線道路改良事業7000万円を加える。

□新川西地区津波避難

タワー建設工事
(電気設備工事)
(契約先) 高部・中原経常
建設共同企業体
(契約金額) 6347万円

□仲の浜地区津波避難

タワー建設工事
(建設主体工事)
(契約先) 赤石建設株
(契約金額) 4億8895万円

□仲の浜地区津波避難

タワー建設工事
(電気設備工事)
(契約先) サンエス・浜中無線経常建設共同
企業体
(契約金額) 6369万円

工事請負契約を可決

□新川西地区津波避難

タワー建設工事
(建設主体工事)
(契約先) 赤石建設株
(契約金額) 4億8246万円



議事事務局長に
澤邊昭彦氏が就任
いたしました。

(4月1日付)

委員会レポート

見とする。

○津波避難対策緊急事業計画（琵琶瀬地区避難タワー）の現地踏査

◆調査の概要

本町の津波防災・減災対策事業は、津波避難対策緊急事業計画に基づき、令和5年度から6年度で丸山散布人工高台造成事業は完成しているが、高台の無い避難困難地域の人命を守るため、津波が到達する時間内に徒歩避難が可能な位置に「津波避難タワー」が4基建設される計画であることから、年度ごとに現地踏査を実施する。令和7年度は、琵琶瀬地区に「津波避難タワー」1基の建設工事が施工されているため、工事現場や進捗状況などについて現地踏査した。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

財政状況の調査、琵琶瀬地区避難タワー現地踏査、道内視察を実施

町の財政状況の調査、津波避難対策緊急事業計画の現地踏査を実施。

また、10月8日から3日間、民泊制度、空き家対策、地域おこし協力隊の活動、つきがたdesignについて道内視察研修を行い、3月定例会で報告。

○財政状況の見通しについて調査

◆調査の概要

財政状況の見通しは、総務経済常任委員会の所管事務調査として従前より隔年で実施しており、財政運営の指標となる財政力指数等の推移を示した表を基に經常收支比率、公債費負担比率など役場庁舎の新築や総合文化センター改修など大型事業の実施による実質公債費比率への影響と将来見通しについて調査した。

◆調査意見

本町の財政状況については、令和5年度に所管事務調査で行った財政状況の見通しでは、大型事業の償還が始まっておらず安定した財政運営が可能とのことであつたが、令和5年度の地方債元利償還額は12億6200万円であり、令和7年

度以降は増加する見通しで、令和11年度の償還額は16億6900万円と見込まれている。

今後の大型事業の展開は交付税措置がある有利な地方債の活用と經常收支比率の改善を進め、財政の弾力性を確保する必要がある。

また、健全な財政運営を維持していくには、総合計画の実施計画事業のローリングなどで調整を図り、これまで以上に事業施策の重要性や緊急性を勘案し実施すべき事業の厳選と經常経費の見直しも再考すべき課題と思われる。

なお、本委員会は、本町の産業振興や住民福祉の向上などに必要な財政状況の見通し調査を隔年で実施してきたが、令和9年度以降も隔年で調査すべき事案であることを申し添え調査意

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

令和8年度は、仲の浜地区と新川西地区に1基ずつ建設する予定であり、令和9年度は、暮帰別地区に1基建設されることで津波避難困難地域住民の人命を守る津波避難対策緊急事業計画に位置付けた5事業が全て完了する見込みである。

令和8年度以降も引き続き「津波避難タワー」の建設工事現場等の進捗状況などを調査する予定である。建設に係る財源確保として、都市防災総合推進事業補助3分の2及び補正予算債の活用などに万全を期すよう申し添え、調査意見とする。

総務経済 常任委員会

水産業が盛んな本町と類似した環境にあることから、本町と共通する課題を多く抱えている。町を訪れる観光客や移住・定住を検討している人々のために大手民泊サイトと連携し「まちまるとホテル」を標榜する清水町の姿勢は、宿泊施設誘致や空き家対策などにおいて参考になる点が多かった。

視察研修で、民泊制度の導入及び公務員の民泊副業、空き家対策・移住定住施策等に関する共通課題や問題点を聴取したことから、本町の活性化に繋げる民泊制度の導入等が行政施策に反映されることを期待し調査意見とする。

○地域おこし協力隊の活動内容と行政のサポート体制を調査

◆調査の概要

地域おこし協力隊の活動内容と行政のサポート体制・自治体側の受け入れ体制・活動終了後の定住率と地域貢献の持続性について調査した。

◆調査意見

栗山町は、人口減少、少子高齢化、進学、就職世代の転出超過への対策を強化するため、「関係人口」の創出により町の活性化を促し、定住人口の増加に繋げるために地域おこし協力隊制度を活用してきた。

地域おこし協力隊の育成に関して大切なことは、隊員自身の業務と目標に向けたスキルアップを常に行い、有識者等の協力も含め自己研鑽に努めながら活動することを促すとともに、必要な情報を行政から常にフォローしていくことが重要である。今後、新たな業務の募集をする際に行政が持つべき考え方として、活動報告会などには分野を問わず積極的に職員を参加させ、新たな人材活用方法を見出し、その次のプランニングも含め募集へつなげていくことが重要である。

現在、本町での雇用形態は業務委託契約であり、活動費を含めた委託料となっているため、隊員にとっては遅滞なく活動可能といっ

たメリットがある。担当課職員とも綿密な情報交換と連携が図られているので、実効性のある活動を期待したい。

また、隊員自身が様々な魅力を持った人材と共鳴し浜中町での活動に関心を寄せるような好循環が生まれていくことを願い、調査意見とする。

○まちづくり団体つきがたdesignとツキビズキャンプについて調査

◆調査の概要

まちづくり団体つきがたdesignの活動内容や運営と明るい過疎化を目指すツキビズキャンプについて調査した。

◆調査意見

「つきがたdesign」は、月形町で活動する「明るい過疎化」をビジョンに掲げた団体である。団体が設立された経緯は、人口減少が進む状況において、挑戦する人が増えることで地域に希望が生まれるとの考えの下、「挑戦する人」を育成し、その活動の広がりによ

って地域の活力向上を図ることである。多様な個性が集まり、月形町に愛着をもって支える人々が増えることで、挑戦する人の周囲に新たな挑戦者が集まり、好循環が生まれる。

このような仕組みを構築することが「明るい過疎化」の理念である。

また、町民と協働し、各種取組を推進する挑戦者を支援する団体であることから、町外からの挑戦者も受け入れ、月形町の応援者として成長する人材の育成を重視している。この考え方は、以前本町において「はまなか21世紀プラン会議」の中で実践した修学旅行の民泊体験事業などと一致している。

本町においても、人口減少をはじめとする様々な課題を抱えていることから、



まちづくりに関する意見・提言を聴取するため、町内の青年有志が連携して活動することができ「まちづくり集団」の組織化について論議するよう要請し、調査意見とする。

委員会レポート

社会文教 常任委員会

町の人口減少対策に向けて

10月19日から4日間、町の人口減少対策に向けて道外視察調査を実施し、3月定例会で報告。

○町の人口減少対策

について調査

◆調査の概要

沖縄県は合計特殊出生率の高い町村が多く、平成30年から令和4年の総務省データでは、宜野座村の2・20（全国3位）を筆頭に与那原町が2・01（同11位）のほか上位20位内に11町村が占めている。両町村においては、過去50年で人口がほぼ倍増している。これらの人口増加の背景や施策等を調査し本町の人口減少対策に資することを目的に行政視察を実施した。

◆調査意見

今回視察した両町村に共通していることは、人口減少対策として子育て支援策を実施してきた訳ではなく、その時々々のニーズに沿った施策であること。また、人口増加の背景としては、都

市部勤務者のベッドタウンとしての要素が大きいことであった。

浜中町に置き換えた場合、仮に別保から糸魚沢間の高速道路が開通したとしても釧路市のベッドタウンとはなり得ないと思われる。現在の子育て世代のニーズにできる限り寄り添い、施策に反映することで、少しでも「住みよい町」と感じて貰うことが移住者増につながり、人口減少を抑止できるものと考えられる。どの事業も重要であるが限られた財源であるからこそ短期集中的な予算措置が必要と考える。

持続可能なまちづくりには、こども・子育て世帯の増加が不可欠であることを再確認して調査結果といします。



一般質問

川村 義春 議員



川村 国は、千島海溝沿い

巨大地震津波が今後30年以内に起きる確率を80%から90%に引き上げたが、津波避難タワー建設に係る財源確保の見通しは。

また令和8年11月頃に設置予定の防災庁の役割は。

町長 新川西・仲の浜地区の避難タワー建設財源は確保している。防災庁の設置は、国難級の災害に対応す

問 津波避難タワー建設財源と防災庁の役割は

答 建設財源は確保できる
防災庁は災害対策の司令塔

るため徹底した事前防災、発災時から復旧復興に向けた司令塔となる組織である。

川村 事前防災に含まれる要支援者の避難は民生委員や自治会長などへ事前に対応して配布し、対応しているか。津波避難タワーにペットの居場所はあるか。

町長 要支援者リストの配布を含め誰が誰をといて確実に逃げる体制づくりを構築したい。ペットの避難場所は屋上も含め今後検討したい。

問 再生可能エネルギーの設置禁止区域の指定を

答 緊急性がある場合は即座に指定できる

川村 景観計画の景観重点区域から外れた地域に太陽光パネルの設置を計画した区域に条例第8条の規定により、町長が禁止区域を指定することが出来ると判断するが如何か。

町長 禁止区域は、規則で地すべり等防止法など法令



景観区域以外の緊急性があると思われる地域

に準拠して区域を設定しているが、景観重点区域以外の緊急性のある区域は、町長が認めれば指定できる。

問 湯沸山に生息するエゾシカ駆除対策は

答 駆除実績は82頭
くくり罠の増で

川村 湯沸山のエゾシカは、増え続けているが、今後もくくり罠での駆除か。駆除実績と現在の生息数、今後の対応は。

町長 湯沸山は国設鳥獣保護区に指定。銃器駆除はせずくくり罠で行っている。令和3年度以降これまでの駆除実績は82頭。生息数は酪農学園大学との共同調査で73頭を確認。今後は、くくり罠の有資格者数を増やし罠の稼働個数を増やす。

問 湯沸ハマナスロード植栽樹への増植は

答 「ベゴニア」に加え「マリーゴールド」も

川村 今後の植栽計画は。
町長 塩害など厳しい環境に強い「ベゴニア」に加え、「マリーゴールド」を植える。結果が良ければ植栽範囲の拡大を検討。

問 霧多布高等学校の入学者増の取組は

答 小型船舶操縦免許の取得事業に全額補助

川村 町立高校の特性を活かして、生徒スキルアップ補助要綱に小型船舶操縦免許（2級）取得費の全額補助を加え、入学者の増を目指しては。

教育長 希望する生徒に対し全額補助したい。HPや学校説明会でPRしていく。

一般質問

三膳 時子 議員



観光資源として 嶮暮帰島の利活用を

自然環境を守れる 現ルールを基に検討

問

答

三膳 町が平成3年に嶮暮帰島の一部を購入した経緯と目的は。

町長 当時、民間事業者が開発を目的に購入する動きがあった。土地開発公社からの申し出もあり、自然環境保全を目的に約22万6千㎡を購入した。これにより、島全体の約62%が町有地となった。

三膳 島に生息する希少生

物の調査研究の状況は。

町長 トウキョウトガリネズミは、平成19年に東京多摩動物公園とパートナーシップ協定を締結し調査を継続している。

コシジロウミツバメについては、野生生物総合研究所が平成11年から13年に生息状況などを現地調査した経緯があった。

三膳 令和7年度に「多摩動物公園友の会」のツアーが来町した際に、嶮暮帰島へ上陸したい意向であったが島へ渡る術がなく断念された経緯があった。嶮暮帰島利活用委員会の設立経緯・目的と構成員は。また、上陸状況と管理体制は。

町長 平成15年に「エコツアーリズム研究会」という任意団体からの申し出により当時の関係部署・野生生物総合研究所・鳥獣保護監視員など13人で嶮暮帰島利用に係る検討会を開催しルールなどを決めたが委員会設立には至っていない。

その後、令和6年度まで渡船業の認可を受けたガイド事業者が、このルールに

沿って上陸申請書を町に提出し観光客を案内してきたほか、学術研究で上陸している。管理は、春に1回遊歩道の草刈りとゴミ拾いを関係者で実施してきた。

なお、多摩動物公園との協定は令和9年で20年となり記念事業を協議中である。

三膳 希少な種の保存とともに観光資源としても活用する考えは。さらに、委員会・協議会などの設立は。

また、一部は民有地であるが地権者との合意は。

町長 新たなガイド事業者の出現が前提であるが、現ルールを基に

事業者や自然保護団体などと協議する場を設け、必要となれば委員会などの設立もあり得る。

また、上陸地点など民有地の使用については、これまで同様に地権者と協議していく。



自然豊かな嶮暮帰島

一般質問

谷村 敦 議員



問 これからの
ふるさと納税の推進は

答 寄附者の心に伝わる
取り組みを強化して

谷村 これまで順調な伸びを示してきた本町への寄附額は令和6年度で14億円台であった。7年度現段階での納税受入金額と、今後の目標額は。

町長 2月末での実績は12億9000万円。7年度としては13億円前半と見込んでいる。目標額は制度改正の影響も考慮し、前年額程度を維持していきたい。

谷村 高品質な本町の返礼品は非常に評価が高い。レビューの獲得（評価や口コミ）をいかに増やし宣伝効果を高めるかが重要と考えるが今後の取り組みは。

町長 応援メッセージをいただいた方へ記念品進呈などの施策を進めてきた。今後は改めて委託業者と協議し検証していきたい。

谷村 寄附者属性の分析やリピーター率の管理は。

町長 女性層に人気のスイーツなどを定期便としてお届けしたり、コンビニで交換するデジタルギフトを始めた。サンクスレターのお付によりリピーター対策をおこなっている。

谷村 浜中町に興味を持ち続けていただくためには、メールやアプリからの四季折々の情報を通じたり、地域おこし協力隊を活用した発信の強化も必要では。

町長 紙面での情報発信だけではなく、SNSの活用や協力隊とも連携しながら取り組みたい。

谷村 寄附金の使途に重きをおく方が増えている。本

町のHP内で、実現した事業の様子などを画像で説明することも大切では。

町長 メールでの配信やHPの見せ方を含め、検証し改良していきたい。

谷村 地元事業者との連携強化や新たな特産品開発は。

町長 ニーズに応じた魅力的な商品開発を事業者と共に努力していきたい。



ふるさと納税PR用パンフレット

一般質問

渡部 貴士 議員



問

責任ある財政運営と町の稼ぐ力を問う

答

基幹産業を守り持続可能な町づくりを進める

渡部 近年、本町では財政調整基金を取り崩しての予算編成が続いており、持続可能な財政への懸念が高まっている。物価高騰や人口減少が続く中、10年後の財政・人口構造を見据えた政策判断が求められるが、基金残高の推移と今後の財政見通しは。

町長 残高は令和元年度の約3億5千万円から現在は

約11億6千万円となっている。今後は賃上げや物価高による人件費・委託料などの歳出増加に加え、公債費の増加も見込まれる。普通交付税も増額傾向にあるが物価上昇のスピードには十分追いつかない面もある。引き続き歳入規模に見合った予算編成を行い、適切な財

政運営に努めたい。

渡部 町長が考える「未来への投資」とは、既存産業の振興か新規事業の創出か。限られた財源の中で事業の優先順位を明確にすることは避けられない課題であると考えているが。

町長 どちらも重要と考え

る。養殖ウニのブランド化や酪農製品の評価向上など、既存産業の強みを伸ばしつつ、創業支援制度を活用した新規飲食店2件の開業など新たな取り組みも芽吹いている。住民サービスの大幅な縮小は考えておらず、基幹産業の振興と自然環境の保全を軸に、持続可能な町づくりを進める。



渡部 産地としての強みを生かし、養殖ウニに次ぐ浜中ブランドを育てる考えは。また、町長が執行方針で掲げた「地域が稼ぐ力」について具体的な取り組みは。

町長 氷鮮マイワシのブランド化に向け試験中でありホッキ貝についても漁協・漁業者と協議しながらブランド化を目指したい。農業と水産の融合による新商品開発など中山間活性化施設の活用を期待する。

吉祥

「浜中学」を学んで

霧多布高等学校3年A組

三上 ゆい

私は2学年の浜中学を通して、地域と関わりながら主体的に考え、行動する力を身につけることができました。その中でも特に印象に残っているのが、6月に行ったインターシップと11月の見学旅行、そして浜中町をよりよくするための探究活動です。

6月に行ったインターシップでは、業界の現状や課題について調査し、自分たちの考えをまとめ、インターシップ報告会で発表を行いました。これまでの授業では、正解を求める学習が中心でしたが、この探

究活動では自ら課題を見つけ、情報を集め、根拠をもとに自分の考えを構築することが求められました。その過程で、資料を読み取る力や多角的に考察する力が養われました。また、インターシップ報告会の発表では、相手に分かりやすく伝えるために説得力のある表現を意識して発表しました。実際の業界関係者の方々に向けて発表するという緊張感がある中で、自分の考えに責任を持つことの大切さを学ぶことができました。

11月の見学旅行では、関東地域の取り組みを実際に見て学ぶことで、新たな視点を得ることができました。現地でお話を聞き、観光地の工夫や課題に触れることで、浜中町の強みや改善点を客観的に捉え直すことができました。この経験は、地域を外からの視点で見つめる大切さを教えてくれました。さらに、2年生の12月か

ら現在にかけて浜中町を改善するために一人一人が探究テーマを設定し、調査・考察を行っています。3年生ではその探究をさらに深め、これまでの成果を振り返りながら新たな課題に挑戦していく予定です。長期間にわたり一つのテーマに向き合う中で、計画的に取り組む力や、困難に直面しても粘り強く考え続ける力が身につくと考えています。浜中学の学びを通して私に身についたのは、課題発見力、論理的思考力、そして発信力です。浜中学での経験は、社会の一員として地域に関わり、自ら考え行動する姿勢を育ててくれました。今後この力を生かしてよりよい社会の実現に向けて主体的に取り組んでいきたいと考えています。

● 揮毫 2年A組 紺野暖斗さん

● 読み方 吉祥 (きつししょう)

● 意味 良い兆しのこと



町のトピックス

霧多布春の風物詩

「ホッキ桁曳き網漁」

3月23日撮影

令和8年3月23日にホッキ桁曳き網漁が解禁となり大量のホッキ貝が水揚げされ、港は活気に包まれました。



この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和8年7月15日です。

町のトピックス(話題)を募集します!

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局 E-mail: gikai@town.hamanaka.lg.jp TEL: 62-2265